

令和3年度

京都市立醍醐中学校

学校だより

第12号



令和4年1月31日 文責 林

高校入試が始まる

2月（如月）になります。節分は、2月3日です。そして、2月4日は「立春」、暦の上では春が始まります。そうは言っても、まだまだ寒い日が続きます。体調管理をしっかりと、元気に学校生活を送ってほしいものです。

3年生は、いよいよ高校入試です。もうすでに終了した生徒もいますが、多くの生徒はこれからです。私立高校入試、公立高校の前期・特別入学者選抜、公立高校の中期選抜と続いていきます。今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で学校生活が制限されましたが、高校入試も影響を受けています。コロナ感染対策を徹底して入試を乗り切っていきましょう。3年生は、これまでもコロナ感染対策を続けて、学校生活を送ってくれました。高校入試でもコロナ対策を継続して、一人一人が文字通り「春」をつかみとってください。高校入試に向けて、大切なことは「泰然自若^{たいぜんじじやく}」。落ち着いて何事にも動じないということです。入試は、誰でも緊張して当たり前です。しかし、緊張すると落ち着けなくなり、気持ちが不安になったり、動転してしまいがちです。ですから緊張するのは当たり前と気持ちを落ち着かせて、普段していることを入試当日も淡々と行ってください。そして、自分自身を「大丈夫」と励ましてください。

また、以前にも話しましたが入試は団体戦です。不安な気持ちを払拭するためにはクラス、学年の団結力がが必要です。クラス、学年の気持ちを一つにして、そして支え合って大きな壁を乗り越えてくれることを願っています。1年生、2年生の生徒と教職員は3年生の健闘を応援しています。

「冬来たりなば春遠からじ」です。

読書のすゝめ

ゴリウの生態研究を続け、京都大学の総長も務められた山極寿一教授は、著書の中で次のように述べています。「つい最近まで知識は人と書籍を通じて伝えられるものだった。子どもたちが学ぼうと思ったら、その知識や技術を持っている人に直接教えてもらうか、それが詰まっている書物を読むか、自分で直接実践して体験するしかなかった。ところが、人に聞かなくても、本を読まなくても必要な知識が得られるようになった。インターネットでデータベースにアクセスすれば、いくらでも知識は得られるし、自分では気がつかなかったことまで教えてくれる。」

私もネットで検索することが増えました。その分、本を読むことが少なくなっています。しかし、本を読むことで物事を深く知ることできるし、じっくり考えられることも事実です。また、本を読んで考えていると今まで自分でも気づかなかった自分自身の思考が現れて、ハッとすることがあります。私は、時間を見つけて読書をしています。ネット検索は便利ですが、皆さんも時には時間をとって、本に親しんでほしいものです。そして、知らない世界への扉を開けてほしいと願っています。

本を読む効果に、「作者を自分に置き換えてみる」というのがあると考えます。作者に同調し、いつか作者のようになっている自分を想像することもあるでしょう。逆に作者とは異なる自分を感じることもあるでしょう。ですから、作者に同意する自分、作者とは異なる自分の両方があることに気づくのではないのでしょうか。そういった中で、自分自身を見つめ直すことにつながり、将来の自分を見つけることもあるでしょう。

（裏面もご覧ください）

新春ふれあいパーク

1月10日（月・祝）に、北醍醐小学校で醍醐中学校区地域生徒指導連絡協議会主催の「新春ふれあいパーク」を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、「どんど焼き」のみの実施でした。他の催し物ができなかったことは残念でしたが、快晴の空に「どんど焼き」が映えていました。

消防団はじめ、地生連の皆様ありがとうございました。



避難訓練



1月14日（金）に避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、地震が発生したという想定です。本来ならまずは揺れが収まるまで教室の机の下に身を隠し、揺れが収まればグラウンドに全校生徒が避難することを考えていましたが、天候と新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して教室での訓練としました。その後、教室で防災について学習しました。

1月17日は、1995年に発生し、6000人以上の犠牲者が出た阪神・淡路大震災から27年です。今の中学生にとっては、生まれる前のできごとですが、「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。今回の避難訓練を機に、防災への意識を高めてほしいと願っています。

ご家庭でも、飲料水や食べ物の備蓄、避難経路の確認、災害非常時の家族の連絡方法の確認などをお願いいたします。

3年生 学年末考査

1月19日（水）から3日間、3年生の学年末考査を実施しました。中学校生活最後の定期考査です。3年生は、各教室で真剣な表情で問題に取り組んでいました。教室内では鉛筆を走らせる音だけが響いていました。進路決定に向けてラストスパートです。

